

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212W102	看護学探究入門 (Introduction to the Exploration of Nursing Sciences)	専門教育科目 統合分野

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	1・編3	前期	火・5	三重野英子、猪俣理恵 大野夏稀、野上龍太郎、 金崎理子、江藤千晴、阿部世史美 内線：5093 E-mail: eikomi@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

看護学を学ぶために必要な「知的探究力」「読解力」「思考力」「創造力」「表現力」等の基礎的な学修スキルを獲得する。また、チーム演習をとおして、看護学の主要概念である「人間」「環境」「健康」「生活」について科学的探究に挑み、知的探究のおもしろさを実感するとともに、自己の学修課題を明らかにする。

本科目の学修により、看護学を基盤に看護を実践する看護専門職としての基本的態度を身につける。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 看護学を探究するとはどのようなことか、どのような学修スキル（アカデミックスキル）が必要であるかを説明することができる。						○	○
2. ICT を活用し、疑問や課題に関する文献・情報を適切に検索・収集することができる。						○	
3. 疑問や課題を検討するために、収集した文献・情報を読み解き、分類整理し、分析することができる。						○	
4. 自分の考えをまとめ（文献・情報の適切な引用を含む）、他者に伝え、建設的な意見交換を通じて自分の考えを発展させることができる。		○				○	
5. 基本的なソフトウェアを活用し、適切にレポート作成やプレゼンテーションを行うことができる。		○				○	
6. 看護学の探究について自己の学修課題を述べることができる。						○	○

【授業の内容】

回	学修内容	
1	看護学の探究とは 必要な学修スキルとは	チーム演習のオリエンテーション
2	文献の検索・収集、整理、適切な引用方法	演習計画の立案
3	クリティカル・リーディングと議論への活用	演習計画の立案
4	レポート・論文の構成および論理的記述方法	演習計画の立案
5	図表等を用いた伝わるプレゼンテーション技法	演習計画の立案
6-11	チーム演習：「人間」「環境」「健康」「生活」に関する疑問から問いをたて、探究テーマと方法を定める。文献・情報の収集あるいはデータ収集と分析、結果、考察をまとめ、プレゼンテーションを行う。	

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	リアクションシート	講義で学んだことをチーム演習を通し実践し 身につける
B：意見の表現・交換	○	チーム演習	
C：応用志向	○	チーム演習・プレゼンテーション	
D：知識の活用・創造	○	チーム演習・プレゼンテーション	

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	講義前の予習，チーム演習の発表準備 計12時間
事後学修	チーム演習で学修した内容について振り返り，復習する 計6時間

【教科書】佐藤望ほか編著(2020)『アカデミック・スキルズ—大学生のための知的技法入門第3版 慶応義塾大学出版』

【参考書】講義の中で紹介する

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6
チーム演習（ピア評価、教員評価）	50%		○	○	○	○	
個人レポート	50%	○	○	○	○	○	○

【注意事項】個人レポート内容が不十分の場合、個別指導を行い、再提出を求める。

【備考】

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の实務経験		三重野英子（看護師）、猪俣理恵（看護師、助産師）、大野夏稀（看護師、保健師）、野上龍太郎（看護師、保健師）、金崎理子（看護師、保健師）、江藤千晴（看護師、助産師）、阿部世史美（看護師、保健師）
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		看護専門職、教育・研究者として得た経験をもとに、看護学を学ぶ上で必要な知識やスキルを教授する。
授業形態		面接授業